

国産カモミールの自然の力をあらゆる人に

活動の経緯

「肌と体に安心なものをおつくりして皆さまのお役に立ちたい」。有機栽培のカモミールから抽出した カミツレエキスの入浴剤「華密恋」をスタートさせたのは1982年。そして7年後、長野県北安曇郡池田町に、土づくりからこだわったカミツレ畑とカミツレエキスの製造工場「華密恋の湯」が体感できる宿「八寿恵荘」をつくり、この地を「カミツレの里」と名付け活動をスタート。

活動の概要

華密恋の原料となる国産カモミールは日本各地で農薬を使わず有機肥料で栽培。



カモミールの定植の様子



華密恋商品

活動の成果、主な実績等

- ① 有機栽培のカモミール圃場の増加
栽培量を確保できる栽培方法を確立し、栽培量は当初より4倍（現在約20ha）に増加。持続可能な農業を推進し圃場を全国に拡大。
 - ② 持続可能な農業を行う生産者の増加・生産者の継続した収入
自社工場でカミツレエキスを生産。30年以上継続した事業展開。
 - ③ 華密恋の商品販売増加
「華密恋」のアイテム数も合計16点、リニューアルや新規開発を実施。
 - ④ 自社圃場である「カミツレの里」の訪問者数の増加
「華密恋」の展開を通して、自社圃場でもある「カミツレの里」の活性化。カミツレの里への訪問者数等のほか、地域の観光者数増加にも貢献
- 学生・児童への教育や体験
自然環境の中で保育を大切にされている保育園を対象に、カモミール定植、収穫体験を企画運営したり、地元中学校の職場体験を受け入れている。カモミールを通して自然に触れ、植物の生長を感じられる場を毎年提供。